

★裏面もご覧ください…「支援センターホームページ紹介」を掲載

第4号

放射線量測定で伊達市民を元気づけている 「NPO 法人環境ワーキンググループ伊達」の活動

仁志田伊達市長は去る2月14日付け「伊達市政だより災害対策号第74号」で「除染によって生活圏の線量は急激に下がっていますが除染していないところでも時間の経過とともに確実に減少しつつある」と報告しました(右写真)。この時引用したデータ並びに分析は「NPO 法人環境ワーキンググループ伊達」が測定したもので、以下にあまりよくは知られていないこのグループの活動をレポートします。

前身は旧保原町時代の「環境ワーキンググループ」 平成24年2月伊達市15番目のNPO法人に

このグループは、環境面から市民生活を考える「環境ワーキンググループ」として旧保原町時代に発足、河川水質調査やゴミ問題への取り組みを続けてきました。そんな中発生したのが「3.11」。グループは早くから独自に放射線量の測定をしていましたが、市民団体として継続し取り組むには「NPO法人化」が必要と判断。平成24年2月には県からの認証も受け、伊達市15番目のNPO法人となり現在に至ります。

伊達市の委託を受けて市内19か所で線量測定を継続 市民団体が率先して取り組んだ県内でも珍しいケース

このグループのように、市民団体が早くから独自に放射線量を測定しデータ収集に取り組んだのは県内でも珍しいケース。伊達市ではこうした実績を評価して、市内19か所の放射線量の測定をグループに依頼。グループは現在も測定を継続中で、そのデータが「災害対策号」の市長報告に結びついているのです。

支援センターのHPでも確認できる線量の推移 グラフで線量低下の「見える化」を支援

「支援センター」はこのグループのNPO法人化手続きを支援する一方、ホームページの情報発信で、活動支援をしています。それが「放射線量測定マップ」。詳細はこの号の裏面をご覧ください。

支援センターと提携し、市内各町内会や団体を対象に 「放射能に負けない出前講座」の企画・実施も

グループは、放射線量測定を続けるかたわら市民向けの出前講座も行っています。この1月には支援センターと共催で伊達地区の長岡町内会役員対象に実施。参加者から「放射線の基礎がわかりやすかった」の声も寄せられました。3月に第2弾が予定される等、市民に寄り添うグループの活動は今後も期待されます。

だて市政だより 災害対策号 【第74号】 平成25年2月14日発行

■時間の経過と放射線の低減について

本稿の下部に、いつも市内各地域の放射線測定結果を載せています。これについて、「何の目的で掲載しているのか?」とか、「除染をしているのにさっぱり変化がない」「飯館との村境なんて誰も行かないし、一番高いところを何も載せなくても…」という声がありますが、この測定結果は本市における放射線量の変化について、重要なことを示唆しているのです。

市では当初から市内で放射線量が高い所から低い所まで代表的な地点を選定し、毎回同じ場所でも測定しています。この測定作業を行っているのは、市から依頼を受けた市民団体の「環境WG(ワーキンググループ)」の皆さんで、雨の日も風の日も、また、今冬のような大雪でも定められた地点に行き、除染してまで測定を行って来ています。その結果から、発生後既に2年近くになり、時間の経過と共に、かなり線量が下がっているのが分かります。除染もかなり進んでいます。測定点はすべてが道路または駐車場などの広場であるため、除染の影響は現時点ではないとのことです。したがって、これらの線量の低下はすべて時間の経過によるものと考えて差し支えありません。

WGの代表である菅野(すげの)先生(元高校の化学の先生)によれば、「我々の周りにある放射性物質はCs(セシウム)134とCs137である。半減期はそれぞれ2年と30年であり、飛散したCsは134と137がほぼ1対1なので、2年後は全体で25%低下することになるはずだが、実際は134と137では放射能の強さが7対3であるので、2年経過すると35%低下することになる。現実には降雨等により更に低下する部分もある。実際に測定結果をグラフ化すると、ほぼ全ての地点でこの理論上の減少線を下回っている」とのことです。

↑: 環境ワーキンググループ
伊達のデータ・分析を利用した災害対策号の市長報告

↓: 線量の観測を続ける会員(梁川希望の森公園内)



NPO 法人環境ワーキンググループ伊達 プロフィール

活動目的

この法人は、自然環境及び住環境の調査事業を通じて、市民の環境改善活動への幅広い積極的な参加を促し、市民の環境改善活動活性化に寄与することを目的とする。
(定款より)

代表: 菅野幸雄さん 連絡先: 024-575-3645

主たる事務所: 伊達市保原町字半道49番地2

従たる事務所: 伊達市保原町字中瀬町150番地2

法人が行う活動分野

環境の保全

地域安全

連絡・助言・援助

「支援センター」ホームページもぜひ活用ください 「市民活動の動き」から「線量推移」まで見えます

「伊達市市民活動支援センター」と検索するだけで
わたしたちのホームページに簡単にたどり着けます

右の写真がホームページ（HP）のトップ。「伊達市市民活動支援センター」で検索すれば簡単にたどり着けますので、ぜひ試してください。伊達市のHPにもリンクしています。

多くの市民になかなか伝わりにくいのが市民活動
これを「見える化」して伝えていくのがHPの役割です

伊達市の市民活動をできるだけたくさん「見える化」するのがHPの役割。ホームページに着いたら「ピックアップ」の記事を見てください。最新のぜひ見て欲しい記事がまとめてあります。「新着情報」「トピックス」の「全てを表示」をクリックすればHP開設以降の全情報が見られます。

「放射能への取り組み」も「見える化」して支援しよう
「放射線量測定マップ」のページはここから生まれました

「環境ワーキンググループ伊達」が測定している市内19か所の放射線量は、伊達市が公開している「地上100cm」の他に「付近の草地上5cm」と「草地上100cm」も測っています。またグループは線量推移の分析を行い、さらには線量の減少率も算出しています。支援センターでは、そのすべてを「見える化」することが、グループの活動支援になると考えて「放射線量測定マップ」のページを作成しています。その一部が右の2枚の写真ですが、各地の放射線量が大きく減少していることがよくわかります。

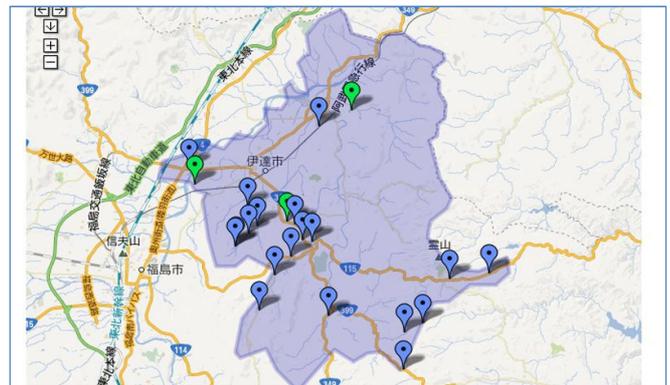
「放射線量測定マップ」は支援センターの支援活動の一例。伝わりにくい市民活動をできるだけ「見える化」することで後押し…支援センターはこれからもこうした活動を続けてまいります。



「ブログ」ページでさらに詳しいレポートも



これが「支援センター」ホームページのトップ



「放射線量測定マップ」のトップ・19の測定地点を「見える化」



「放射線測定マップ」の詳細と分析を「見える化」したページ。折れ線グラフで線量低下の推移、「今月の分析」で推移の要因がわかり、最下段の減少率の「表」で、「測定開始から先月まで」「先月から今月までの1か月」「測定開始から今月まで」の3つの減少率がわかります。



わたしたちがサポートします

～NPOへ参加をしたい。～さらに活動を広げたい。
…そんな市民の「したい」を応援します。
お気軽にご相談ください。まずはお電話から…
電話番号： 024-583-2800

○開館：毎週・火～日曜(月曜休館) 午前9時～午後6時

お気軽に伊達ふれあいセンター3階まで

